

## スクール・セクハラ防止のためのセルフ・チェックリスト（管理職用）

スクール・セクハラは、児童・生徒に深い心の傷を与えるだけでなく、その後の成長にも大きな影響を与えます。教職員が児童生徒を不快にさせる性的な言動を行うことは、絶対にあってはなりません。

以下のチェックリストを使って、管理職としての日常を振り返ってみましょう。

1	セクシャル・ハラスメントの兆候を見逃さないよう、常に人事管理に注意を払っている。	( はい  いいえ )
2	多忙なときでも、教職員や児童生徒・保護者の声に耳を傾けるよう努めている。	( はい  いいえ )
3	教職員による児童生徒への携帯電話やメールを利用した連絡について、管理職の許可等の留意事項を示して指導している。	( はい  いいえ )
4	教職員が児童生徒と密室でやむを得ず二人きりになる場合、必ず管理職の許可を得るよう指導している。	( はい  いいえ )
5	校内巡視を適宜行い、少しの変化であっても、校内の状況を把握するよう努めている。	( はい  いいえ )
6	部活動の合宿等、泊を伴う活動については、複数の教員に担当させている。	( はい  いいえ )
7	放課後を利用した指導については、児童生徒の帰宅時間や帰宅手段に十分配慮するよう、教職員を指導している。	( はい  いいえ )
8	スクール・セクハラ相談窓口を設置し、担当者を決め、児童生徒や保護者に毎年周知している。	( はい  いいえ )
9	スクール・セクハラ防止のための教職員研修を、定期的に実施している。	( はい  いいえ )
10	事案が生じた場合の対応手順を理解している。	( はい  いいえ )

「いいえ」の項目がある場合は、再度点検し、教職員への周知徹底を図りましょう。

### ※スクール・セクハラとは・・・。

スクール・セクハラとは、学校の内外において、教職員が児童生徒等に性的な言動を行うこと。

〔性的な言動とは〕 性的な関心・欲求や社会的・文化的につくられた性差に基づく発言と行為